

7/19 スターゼン(株) 台湾向け牛肉輸出出発式

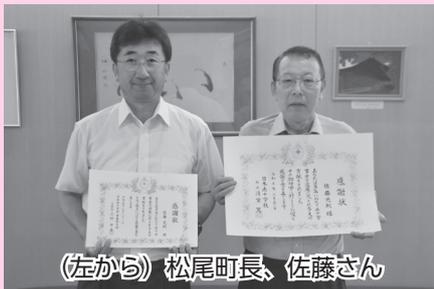
県産和牛、台湾へ初輸出！

食肉加工・販売などを手がけるスターゼン(株) (横田和彦社長) のグループ会社、スターゼンミートプロセッサー(株)青森工場三戸ビーフセンターでは、台湾に牛肉を輸出するために必要な国の認定をことし3月に青森県で初めて取得し、台湾へ向けた牛肉の輸出を開始しました。

牛肉輸出を祝う出発式では、横田社長たち関係者や松尾和彦町長、馬場浩治副町長がテープカットをして、第一便となる七戸町で飼育された黒毛和牛「みちのく和牛」約350キログラムの出発を祝いました。横田社長は「日本産牛肉の特徴やおいしさについて台湾の消費者に宣伝するとともに、県産牛肉の提案も積極的に進めたい」と意気込みました。



テープカットする関係者の皆さん



(左から) 松尾町長、佐藤さん

7/20 日本赤十字社が佐藤光則さんに感謝状を贈呈

長年、赤十字の指導講師活動に尽力

赤十字事業の進展に多大なる貢献をした佐藤光則さんに対して、日本赤十字社本社と青森県支部から感謝状が授与されました。佐藤さんは、日本赤十字社青森県支部の指導講師などの経験を通して、赤十字の普及・発展および啓発活動に長年尽力しました。

佐藤さんは「講師の仕事を通して、多くの人に自分の知識と経験を伝えることができた。これからも地道に赤十字活動の啓発に努めていきたい」と話しました。

7/25 泉山七歳児初参り

子どもの健やかな成長を祈る伝統習俗

男児が一人前になるための通過儀礼として泉山地区に古くから伝わる登拝習俗「泉山七歳児初参り」が4年ぶりに行われ、ことしは3人の男児が参加しました。国の重要無形民俗文化財に指定されているこの行事は、毎年7月25日に行われ、数え年7歳(来年小学校入学予定)の男児が名久井岳第二峰「月山」の登山に挑むもので、片道約3kmの険しい山道を登らなくてはなりません。

白装束に身を包んだ男児たちは、男性の保護者とともに出発。途中、岩場を這うように登る難所も乗り越え、登頂を果たしました。山頂の月山神社奥殿では、神事を行い、絵馬を納め健やかな成長を祈りました。



険しい山道を登る子どもたち



月山神社奥殿で神事

7/20 藤田祐一さん 100 歳顕彰

よくかんで食べることが元気の秘けつ

藤田祐一さん（大正 12 年 7 月 20 日生まれ）が、めでたく 100 歳の誕生日を迎え、自宅で松尾和彦町長から顕彰状と祝い金、記念品を受け取りました。

祐一さんは、田子町で 3 人きょうだいの第 1 子として生まれましました。田子小学校高等科を卒業後、少年航空兵となり満州国で航空機の通信補助を 3 年担い、その後 18 歳で陸軍少年通信兵学校に入学し、優等卒業しました。37 歳で結婚した後は三戸町に住み、現在は子ども 3 人、孫 8 人、ひ孫 5 人と家族にも恵まれています。昭和 25 年から定年まで南部バスに勤務し、昭和 39 年から昭和 55 年までは三戸町議会議員を 4 期 16 年務めました。祐一さんは「よくかんで食べることが元気の秘けつです」と話しました。



（左から）藤田さん、松尾町長



（前列左から）ヤンティさん、リスティアさん、インドリさん

7/21 インドネシアから来た 3 人が鶴亀荘で勤務

施設利用者と仲良くなりたい

社会福祉法人恵心会（武士澤勝義理事長）が運営する特別養護老人ホーム鶴亀荘で 8 月から、インドネシア人の女性 3 人（ニ・ニョマン・インドリ・ワーユニ（インドリ）さん、ニ・ワヤン・アスティティ・ダルマヤンティ（ヤンティ）さん、ニ・マデ・アユ・リスティア・デウィ（リスティア）さん）の勤務が始まりました。3 人は現地の学校で介護技術や日本語を学び、特定技能生として来日しました。着任前には、武士澤理事長や鶴亀荘職員たちとともに役場を訪れ、松尾和彦町長に着任を報告しました。松尾町長は「早く三戸になじんでくださいね」と話し、3 人を歓迎しました。3 人は「利用者の皆さんと仲良くなりたい」と意気込みました。

7/24 三戸中央児童館で「人権教室」を開催

他人への思いやりの心を養う

三戸中央児童館は、三戸町人権擁護委員の根立朋子さんを講師に招き「人権教室」を行いました。児童館を利用する小学 1～6 年生 65 人が参加し「いじめ」を例に、他人への思いやりや、いたわりの心といった人権尊重の意識を養いました。参加した子どもたちは「友だちとけんかしないで、仲良くしたい」「自分がされて嫌なことはしない」と話し、多くのことを学びました。



根立さんの話を聞く子どもたち



松尾町長と話す米田さん（写真中央）

7/26 米田藍日^{あいび}さんが全国高総文祭弁論部門に出場

聞いている人の心に響く発表をしたい

三戸高等学校 2 年の米田藍日^{あいび}さんが全国高校総合文化祭弁論部門に出場することを松尾和彦町長に報告するため、役場を訪れました。米田さんは「聞いている人の心に響くような発表をしたいです」と意気込みました。松尾町長は「三戸高校の生徒が代表として全国大会へ出場してくれることがうれしい。万全の調子で頑張ってきてください」と激励しました。

7/26 緑の少年団グリーンジャンボリー

自然の大切さを楽しく学ぶ

三八地区林業・木材産業振興協議会（桑原一夫会長）は、自然や林業について理解を深めるグリーンジャンボリーを八戸市の市民の森不習岳で開催しました。貝森緑の少年団8人と、階上町の石鉢緑の少年団13人が参加し、木登り体験や木工教室、南部小麦を使ったピザを作る体験を行いました。

参加した貝森緑の少年団の中沢凜さんは「木登り体験では、登るときのヒモの上げ方が難しかったけれど、一番上まで登り切れたのでうれしかったです。自分で作ったピザもすごくおいしかった」と笑顔で話しました。



木登り体験をする子どもたち



(左から) 橋本局長、松尾町長、
11ぴきのねこ

7/26 「11ぴきのねこメジャー」登場

2種類のメジャーを郵便局で販売

町出身の漫画家故・馬場のぼるさんの人気絵本「11ぴきのねこ」（こぐま社刊）のメジャーが東北支社管内の18郵便局で販売されています。商品のデザインは絵本に登場する「11ぴきのねこ」と「とらねこたいしょう」の2種類で、手触りの良いシリコンゴムでほぼ笑む顔が再現されています。三戸郵便局の橋本正俊局長は役場を訪れ、松尾和彦町長にメジャーを贈呈しました。松尾町長は「可愛らしく、質感もいいのでぜひ使ってみてほしい」と話しました。お問い合わせは三戸郵便局まで（☎ 22-2363）

7/30 熊原川で「さんのへ川まつり」

涼しい水辺で元気に遊ぶ

三戸町商工会青年部（山田龍三郎部長）は、熊原川で「さんのへ川まつり」を開催し、約1,000人が来場しました。ビニールプールやゴムボート、イワナとニジマス合計600匹を用意した川魚のつかみ取り、サウナテントなどに大勢の人たちが訪れ、まつりを楽しみました。



川魚のつかみ取りを楽しむ子どもたち

8/4 北奥羽団体囲碁大会で三戸学園 B チームが優勝

優勝できてうれしかった

(株)デーリー東北新聞社主催の第50回北奥羽団体囲碁大会が7月30日に開催されました。本大会は、有段者が占めるAクラスと級位者が中心のBクラスに分かれ、Bクラスに出場した三戸学園B（平稜太5級（三戸小5年）、辻ヶ平緩奈8級（三戸小5年）、坂本実唯菜15級（三戸小4年））が4勝1敗で優勝しました。後日、Bチームのメンバーは、優勝したことを慶長隆光教育長に報告するため、役場を訪れました。

平稜太5級は「強い人もたくさんいたけれど、習ったことを生かして勝ち進み、優勝できたのでうれしかったです」と感想を話しました。



(前列左から) 辻ヶ平さん、平さん、
坂本さんと慶長教育長（後列）

8/4 三戸中生徒が東北・全国大会出場報告

それぞれの大会に向かって意気込む

小中一貫三戸学園三戸中学校（島守詩子校長）の生徒2人が、卓球の全国大会と柔道の東北大会に出場することを松尾町長と慶長隆光教育長に報告するため、役場を訪れました。

卓球のJOCジュニアオリンピックカップ2023年全日本卓球選手権大会（カデットの部）に出場する田中里歩さん（三戸中1年）は、県予選会13歳以下の部で準優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。田中さんは「今まで戦ってきた人の想いを胸に勝ち進み、世界の舞台上で活躍したい」と意気込みました。柔道の第46回東北中学校柔道大会に出場する佐藤俊介さん（三戸中3年）は、県大会男子90キログラム級で3位となり、東北大会への出場権を獲得しました。佐藤さんは「一緒に練習してきた仲間の分も全力で戦い抜き、勝ち進んでいきたい」と抱負を述べました。松尾町長は「最期まで諦めず、全力で頑張ってきてください」と激励しました。



（左から）松尾町長、田中さん、佐藤さん、慶長教育長

「エネルギー価格等高騰対策事業者支援金」の申請期限が迫っています

支援金の申請期限は **9月19日(火)**までとなります。

まだ申請がお済みでない事業者の皆さまはお急ぎください。

■対象事業者（個人事業主または法人）

町内に事業所を有し、事業収入がある個人事業主または法人であって、令和5年6月1日以前から事業を営んでおり、支援金受領後も事業を継続する意思がある事業者

■支援金の額 1事業者あたり3万円

■必要書類 交付申請書兼請求書（様式第1号）のほか、次の書類を添付してください。



◀詳しくはこちらから

個人事業主	法人
(1)事業所の所在地が確認できる書類の写し (2)事業収入が主たる収入であることを証明する書類の写し (例) ・令和4年分確定申告書B第一表 (所在地と事業収入の確認ができます) ・営業許可証、公共料金の請求書 (確定申告書記載の住所と異なる場合)	(1)事業所の所在地が確認できる書類の写し (例) 登記事項証明書、法人町民税申告書、印鑑証明、定款、法人市町村税の確定申告書、営業許可関係の書類など
(3)支援金振込先口座と口座名義が確認できる通帳などの写し ※令和4年度三戸町エネルギー価格等高騰対策事業者支援金と同一の口座を希望する場合は不要	
(4)本人確認書類の写し（運転免許証、健康保険証、住民票、マイナンバーカードなど） 【郵送申請の場合】代表者の本人確認書類の写し 【窓口申請の場合】窓口に来る人の本人確認書類の写し	

※交付申請書兼請求書（様式第1号）は、窓口で配布するほか、町ホームページ（<https://www.town.sannohe.aomori.jp>）からダウンロードすることができます。

【申請期間・窓口（送付先）】（受付時間：平日9時～16時）

窓 口：三戸町役場 まちづくり推進課（三戸町役場2階） ☎ 20-1117

（送付先）：〒039-0198 三戸町大字在府小路町43

※窓口の混雑が予想されますので、郵送での申請にご協力ください。